

# 第 53 回 全国建設業労働災害防止大会に参加

平成 28 年度 (一社)三重県建設業協会 実施事業

開催日時：28 年 9 月 29 日(木)～30 日(金)

開催場所：名古屋国際会議場

センチュリーホールほか

参加者：121 名(三重県建設業協会会員企業から)

主催：建設業労働災害防止協会

建設業労働災害防止協会愛知県支部

開催協力支部：建設業労働災害防止協会三重県支部

## 大会内容：

建設産業の安全衛生水準の向上を図るため、毎年、二日間にわたり全国の建設業の安全衛生担当者が一堂に会する全国建設業労働災害防止大会が本年度も開催されました。

平成 28 年度は第 53 回全国大会として愛知県名古屋市の『名古屋国際会議場 センチュリーホール』をメイン会場として開催されました。

初日(29 日)の総合集会では来賓のあいさつの後、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者の表彰が行われました。続いて、安全の誓いの採択し記念講演が行われました。

二日目(30 日)の専門部会では、会員企業などが取り組み、成果をあげた最新の安全衛生管理活動などが 5 部会に別れて開催され有意義な大会となりました。

また、会場内では安全衛生保護具・測定機器・安全標識等の展示も行われ、カタログでしか目にできない商品がメーカー担当者の説明を聞きながら実際に手に取って確認できる良い機会が提供されました。

## 大会スローガン

予知して 備えて 周知して みんなで築く 安全職場



## ● ● ● ● ● 安全の誓い ● ● ● ● ●

私たちは、人命尊重の基本理念の下、日々の安全確保を第一に不断の努力を続け、建設業の労働災害は長期にわたり減少をしてきました。

しかしながら、建設業の重篤な災害は、全産業の中でも最も多く、目標として掲げた「第7次建設業労働災害防止5カ年計画」の達成には、さらなる安全衛生管理活動等の充実を図る必要があります。

また、今後、建設投資が回復基調で推移することが見込まれる一方、技能労働者の不足や高齢化、将来の担い手の育成・確保など、喫緊に解決しなくてはならない課題もあります。

工事量の増加とともに労働災害が増大することのないよう、安全衛生教育の充実や企業の安全衛生管理能力の一層の向上を図る必要があります。

このため、組織トップのリーダーシップの下、リスクアセスメントをはじめとする効果的な労働災害防止対策を計画的かつ継続的に進め、現場で働く一人ひとりまで、安全を最優先する「安全文化」を定着させることが重要となります。

私たちは、本日の全国大会を契機として、さらなる安全意識の高揚及び各社で培われた安全衛生管理のノウハウを共有化して、建設業の労働災害を根絶するため、

- 一 「墜落・転落災害」、「建設機械・クレーン等災害」、「倒壊・崩壊災害」の三大災害防止対策等の徹底
- 一 特別教育等の安全衛生教育の充実、及びメンタルヘルス対策の推進
- 一 リスクアセスメントを核とするコスモスの導入及び計画的安全衛生計画の推進

を重点として、労働災害防止活動及び健康の保持増進並びに快適職場環境の形成に組織的に取り組み、だれもが安全で健康に働くことができる職場を実現することを誓います。

平成 28 年 9 月 29 日

第 53 回全国建設業労働災害防止大会